平成３０年度　「総合的な学習の時間」の全体計画

生徒の実態

・純朴・素直で、落ち着いた学校生活を送っている
・充分な家庭学習習慣が身に付いていない生徒が見られる
・羽幌町をはじめ、近隣の中学校（苫前町・初山別村）から入学している
・部活動加入率が88.0%（平成29年度）

学校の教育目標

・正しい判断力を養う
・豊かな情操を養う
・たくましい体力を養う

保護者の願い

・安定した落ち着いた学校生活
・基本的生活習慣の確立
・授業や補習、講習による基礎学力の定着
・部活動での体力、精神力、協調性の育成
・就職、進学等の進路実現

校　訓

明　　朗
堅　　実

地域の実態

・島、海、山、川等の豊かな自然に囲まれた教育環境
・炭砿や国鉄跡等の歴史
・農業、漁業が産業基盤
・ボランティア活動や国際交流事業が盛ん
・大らかで高校に対する期待は大きい

総合的な学習の時間の目標

【テーマ】
「羽幌の自然環境と暮らしについて自ら調べ、これからの生活を考える」
【目標】
　地域の自然、仕事、歴史を学ぶことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

地域との連携

・「羽高だより」の回覧（羽幌町苫前町）やWebページへの掲載や各学年通信によって、総合的な学習の時間での活動の様子を地域・家庭へ伝える
・シーバードフレンドリー推進協議会をはじめ官公庁、地域企業と連携し、体験的な学習を推進する
・地域の人材の協力を得て、総合的な学習の時間の体験的学習やボランティア活動を実践する
・コミュニティースクールによって小中高の連携を強化する

活動領域の流れ

【関心→知識の習得→理解・認識の深化→行動】の流れを意識させ、プログラムを作成する
〔１学年〕
〇地域の自然について関心を持たせ、知識を深めるとともに、調査・分析をし、その内容をまとめ、表現させる。
〔２学年〕
〇地域の自然について関心を持たせ、知識を深めるとともに、調査・分析をし、その内容をまとめ、表現させる。また、インターンシップを通して身に付いた知識・技能が相互に関連づけられ、社会の中で生きて、働くための基盤となる資質・能力を育成する。
〔３学年〕
〇地域の自然について関心を持たせ、知識を深めるとともに、調査・分析をし、その内容をまとめ、表現させる。また、学びに向かう力を伸ばし、探究課題の解決を通して、３年間の学習内容を整理・分析し、まとめさせる。

学習活動の３領域	１学年	２学年	３学年
【知識・技能】 　課題について横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識 　探究することの意義の理解 【思考・判断・表現】 　探究することを通して身に付ける課題を見いだし解決する力（課題設定、情報収集、整理分析、まとめ、表現） 【主体的に学習に取り組む態度】 　主体的に探究する経験の蓄積を自己肯定感に繋げ、さらに高次の課題に取り組もうとする態度	〇学年テーマ 　「地域の自然を知る」 〇学年目標 ・地域の自然環境や地球環境についての興味、関心を高める ・自然環境を調査、分析する技能を養う 〇内容 ・地域の自然と地球環境 ・いま、自分たちにできること	〇学年テーマ 　「地域の仕事を知る」 〇学年目標 ・地域の産業について、理解を深める ・働くことの意義を理解し、自己の進路目標を設計しその実現に向けて努力する 〇内容 ・働くこと、社会と関わること	〇学年テーマ 　「地域の歴史を知り、これからを考える」 〇学年目標 ・地域の歴史について、理解を深める ・地域の一員として、自分たちにできることを考え、主体的に行動する態度を養う 〇内容 ・地域の歴史と人々の暮らし ・未来に伝え、残すこと

・総合的な学習の時間や教科・科目で育成された能力と特別活動で培われた実践的な態度や能力とを相互に関連させ、それぞれの学習活動を補い合い、学校教育目標の達成を目指す